

I 評価の目的と方法

資料 2

1. 評価の目的

宜野湾市では、令和 3 年度に「第二期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、まち・ひと・しごとの創生に取り組んでいる。計画の推進・検証にあたっては、PDCA サイクルを導入し、基本目標に係る数値目標や、具体的な施策に係る重要業績評価指標(KPI)の達成度を検証し、改善を行うこととしていることから、令和6年度における KPI に対する各施策・事業の進捗状況の把握、効果検証を行うことを目的に実施する。

2. 評価の方法

(1) 施策・事業の進捗状況の把握

各施策について担当課に対して調査票の記入を依頼し、施策の進捗状況を取りまとめた。

図. 照会資料

第二期宜野湾市まち・ひと・しごと創生総合戦略 令和5年度効果検証シート(PDCAサイクル)									
PDCA	部課係名					担当者			
Plan (R6年度までの計画、目標設定)	基本目標	③市民の希望実現に向け安心して結婚・出産・子育てができる環境を整える							
	基本的方向	①教育・保育と子育て支援の質の向上と安定的な供給							
	具体的施策	乳幼児期の保育・教育の総合的な推進							
	目標値(KPI)	保育施設の特機児童数: 0人							
	【具体的な取組み】								
Do (何を行ったか、課題の抽出、実績)	【実施状況(令和5年度)】								
	【実施上の課題等】								
	【目標値の達成状況(各年度末時点)】								
		R3	R4	R5	R6		目標値(KPI)	R6	
	数値							0	
達成率									
【KPI達成度評価】(※)									
Check (実施してどうだったか、事業の評価等)									
【『具体的な取組み』の現状分析】									
Action (評価等を踏まえ、次年度に向けての見直し等)									
【実施状況・課題・KPI達成度・現状分析を踏まえたうえで、次年度に向けての見直し等】									

(2) 数値目標及び KPI 達成状況の評価

数値目標及び KPI については、施策ごとの達成状況が把握できるよう、以下に示す基準で点数を設定した。

表. 評価の区分

評価	判断の基準
4:計画達成	・目標値(令和6年度)に対する実績値(令和6年度)の割合が 100% 以上のもの
3:計画未達成 (75%以上)	・目標値(令和6年度)に対する実績値(令和6年度)の割合が 75%～100%未満のもの
2:計画未達成 (75%未満など)	・目標値(令和6年度)に対する実績値(令和6年度)の割合が75%未満のもの、または、実績値(令和6年度)が現状値(令和元年度)を下回るもの
1:未着手	・実績(令和6年度)が無い(値が0)もの

II 効果検証結果

■基本目標① 魅力ある人材と産業を育成し安定した雇用を創出する

基本的方向①魅力ある人材育成モデルの確立
基本的方向②人材が活躍できる産業の育成

・基本的方向①魅力ある人材育成モデルの確立

- ① 雇用の創出と就業支援の推進
 - ・民間の短時間・単発的な就労マッチングサービス(例:タイミー等)の拡大などにより、ハローワークへの相談件数は年々減少傾向にあり、就職件数 558 件(うち宜野湾市 461 件)と目標の 800 件には至らなかった。
 - ・今後は、「ふるさとハローワーク」の認知度向上や利用促進を図るとともに、ハローワーク沖縄等と連携して、企業説明会等の実施に取り組む。
- ② 企業が求める人材育成の推進や働きやすい職場環境づくりの促進
 - ・小中学校でのキャリア教育を実施しているが、学校側の意向や授業等の年間計画の関連などもあり、全学校の実施に至らず、就業体験受講者数は 3,076 人と目標の 4,000 人には至らなかった。
 - ・今後、市内 13 校での事業実施や「じのーんあいあいマップ」等を活用して、就労への意識向上を図る。
- ③ 国際感覚豊かな人材の育成
 - ・中国廈門(アモイ)への留学生派遣については、令和 6 年度に 4 年ぶりの実施となったが、コロナ禍における渡航制限等により、目標の延べ人数延べ 22 人には至らなかった。
 - ・今後は事業の継続や新たな友好都市の交流方法のあり方について検討する。

・基本的方向②人材が活躍できる産業の育成

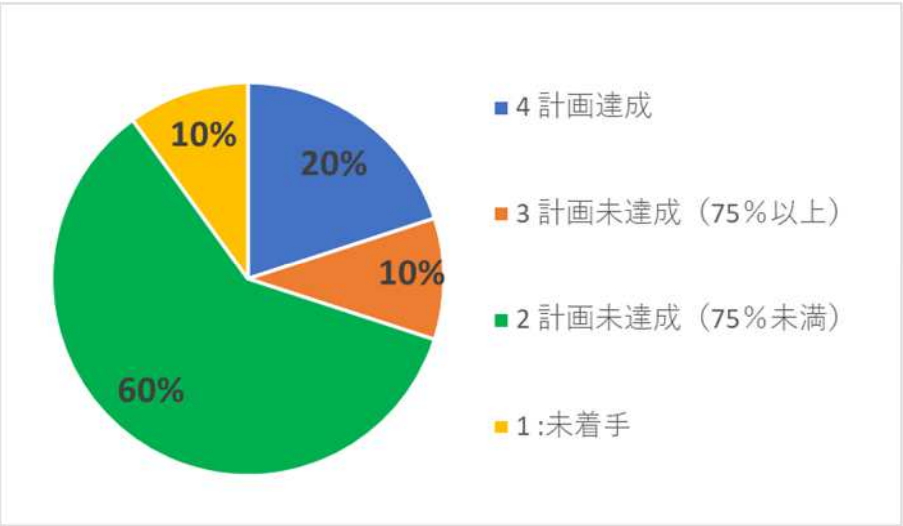
- ① 地域の特性を活かした商店街づくりの促進
 - ・空き店舗事業(家賃補助・リフォーム補助)は目標の 88 件を達成し、一定の役割を果たした。
 - ・令和 7 年度以降は、企業立地や誘致に向けた新たな事業の展開を図る。
- ② 情報通信関連事業所への支援
 - ・宜野湾バイサイド情報センターのインキュベーションオフィスにおいて、新規創業2社の利用が決定したが、同センターでのワンストップ相談窓口利用者による実創業は計画期間全体でも無しの状況。
 - ・今後は、インキュベーションオフィスを活用した環境改善に向けて指定管理者との協議を進める。
 - ・「情報通信関連産業振興地域制度」の活用事業所数は、前年度から横ばいで継続申請が中心であり、新規の企業の立地促進に繋がっていない。
 - ・今後は、同制度の活用については、継続して周知を行いたい。
- ③ 都市型農業・漁業の促進
 - ・市外での就農希望者を含む新規就農者支援や助成金交付により営農継続・経営安定化を支援したが、担い手不足により、新規就農者の確保が困難な状況となっている。
 - ・沖縄県や JA と連携した就農相談会等の周知を図るとともに、必要に応じて事業者支援策を検討する。
- ④ 中小企業等の活性化の促進及び産業の創出に向けた各種支援
 - ・商工会等における創業支援窓口利用による創業者数はわずかに目標に及ばなかった。
 - ・今後も商工会等と連携し、創業支援窓口・インキュベーションオフィスの周知強化を図る。
 - ・「産業高度化・事業革新促進地域制度」の活用については、新規企業の立地が少なく、目標の 15 件に至っていない。今後は、申請手続き等を含め、制度周知に取り組み、活用促進を図りたい。

○数値目標の達成状況

R6数値目標	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価
		R5	R6		
宜野湾市ふるさとハローワークを利用した市民の就職率	記載なし	11.0%	10.2%	毎年度の増加を目指す	2

○OKPI の達成状況

指標 (KPI)	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価 (KPI達成度)
		R5	R6		
就業体験受講者数(人)	3685人	2540人	3076人	4000人	2
宜野湾市ふるさとハローワークにおける就職件数(件)	700件	477件	461件	800件	2
中国廈門(アモイ)理工学院派遣留学生延べ人数	18人	18人	19人	22人	2
空き店舗家賃補助 採択延べ件数	18件	91件	107件	88件	4
空き店舗リフォーム補助 採択延べ件数	8件	42件	50件	33件	4
宜野湾バイサイド情報センター(インキュベーションオフィス)での創業件数	0件	0件	0件	3件	1
情報通信関連産業振興地域制度の活用事業所数	7事業所	7事業所	7事業所	10事業所	2
新規就農者延べ人数	3人	8人	8人	11人	2
ワンストップ相談窓口利用者の創業件数	33件	48件	44件	45件	3
産業高度化・事業革新促進地域、国際物流拠点産業集積地域制度の活用事業所数	8事業所	12事業所	12事業所	15事業所	2



■基本目標② 観光・コンベンションで多様な人との出会いと交流を促進する

基本的方向①地域資源を活かした観光・交流の促進
基本的方向②スポーツコンベンションの振興による交流機会の創出

・基本的方向①地域資源を活かした観光・交流の促進

- ① 観光情報の発信及び魅力ある地域資源の創出・活用
 - ・はごろも祭りについては、海浜公園屋外劇場改築工事による会場規模の縮小や悪天候により目標の16万人には至らなかったものの、西海岸地域全体の入域者数はコロナ禍以降回復傾向にあり、250万人を超えた。
 - ・今後も近隣商業施設等に駐車場借用の協力と屋外劇場完成後の祭りの会場レイアウトを検討する。
- ② 宜野湾市西海岸地域音楽活性推進事業の推進
 - ・屋外劇場改築工事は令和8年度に工事完了予定となっているため、コンサートは開催できなかった。
- ③ 普天間飛行場周辺まちづくり事業の推進
 - ・普天間・真栄原地区の事業工程の進捗により目標達成には至らなかった。
 - ・今後は、事業費の約4割を占める交流拠点施設等の建設工事の着手が予定されており、事業全体の進捗促進が図られる見込みである。(令和10年度内の事業完了目標)

・基本的方向②スポーツコンベンションの振興による交流機会の創出

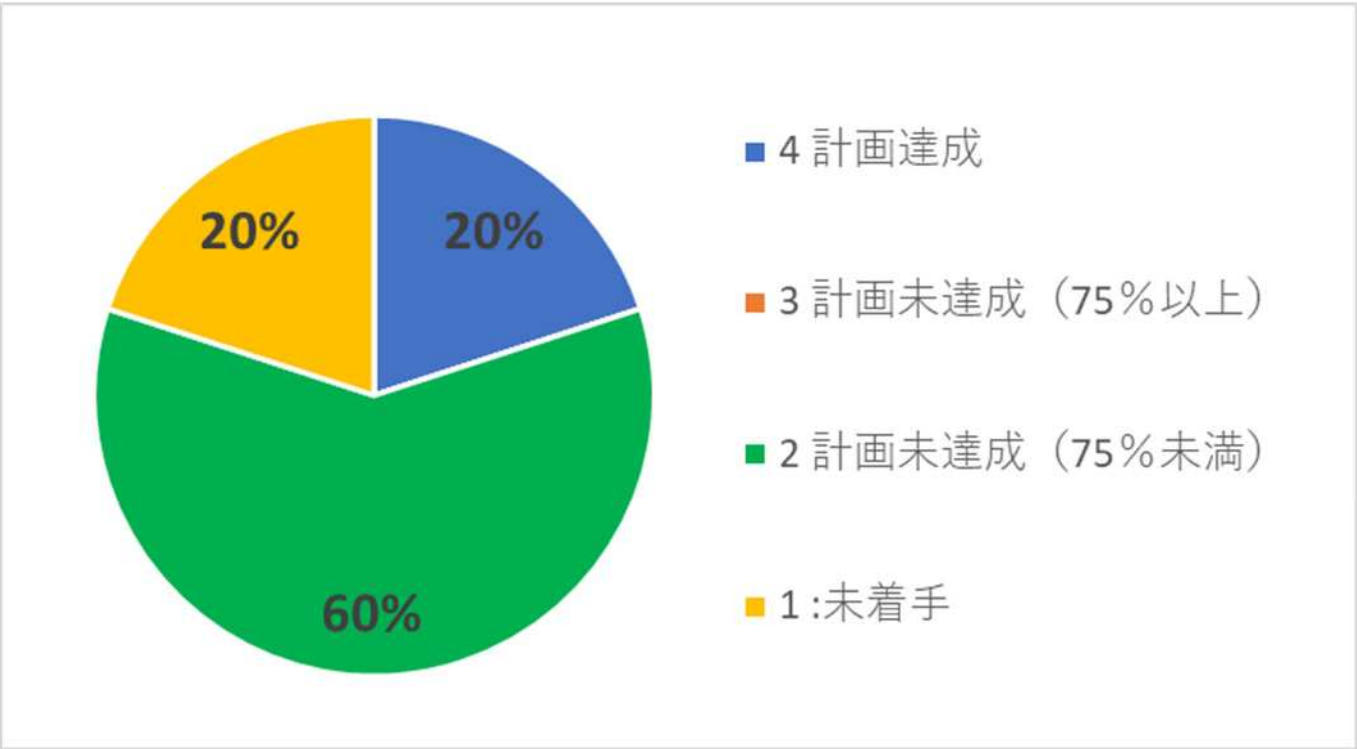
- ① 各スポーツキャンプ・大会の誘致・受入態勢の強化
 - ・横浜 DeNA ベイスターズが2024シーズンに日本一に輝いたことを受け、優勝パレード実施の効果もあり、来場者数が目標値を大きく上回った。
 - ・今後も春季キャンプ盛り上げプロジェクトなどによる取り組みを行うほか、キャンプへの来訪者を市内に循環させる仕組みを構築する。
- ② 宜野湾海浜公園施設等における再編整備の推進
 - ・天候不順による大型イベントの中止やはごろも祭りの規模縮小により利用者数が伸びず、目標の89万5千人には至らなかった。
 - ・令和8年度以降は、スケートボード広場の整備やパーク-PFI等の手法も活用しながら、利用者ニーズに応える施設整備を行い、利用者数の増を目指す。

○数値目標の達成状況

R6数値目標	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価
		R5	R6		
西海岸地域入域者数	226万人	2,114,612人	2,500,852人	250万人	4

○OKPIの達成状況

指標 (KPI)	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価 (KPI達成度)
		R5	R6		
はごろも祭り来場者数	14.5万人	9.5万人	5.5万人	16万人	2
宜野湾市屋外劇場の年間コンサート開催件数	4件	0件	0件	16件	1
普天間飛行場周辺まちづくり事業進捗率	14.5%	45.6%	48.2%	87%	2
スポーツキャンプ・大会開催による来場者数	21,420人	29,482人	42,803人	26,000人	4
宜野湾海浜公園施設の利用者数	812,575人	637,664人	698,239人	895,000人	2



■基本目標③ 市民の希望実現に向け安心して結婚・出産・子育てができる環境を整える

基本的方向①教育・保育と子育て支援の質の向上と安定的な供給
基本的方向②健やかで切れ目のない子どもの成長支援
基本的方向③子育てしやすい社会環境の整備

・基本的方向①教育・保育と子育て支援の質の向上と安定的な供給

- ① 乳幼児期の保育・教育の総合的な推進
- ・就労支援金等の保育士確保策に取り組んでいるが、人材不足等により待機児童の解消には至っていない。
 - ・一時預かり事業、ファミリーサポートセンター事業、地域子育て支援拠点事業等の子育て支援に取り組んでいるが、人材不足等により民間の子育て支援センターが開所できなかった状況である。(R7 年度には開所)
 - ・市立幼稚園の幼保連携型認定こども園への移行が進んでおり、今後も保育ニーズへの供給に取り組む。
- ② 地域と連携したこどもの居場所づくり
- ・児童センターが未設置の小校区(普天間小学校、はごろも小学校、嘉数小学校)がある。コロナ禍後の利用ニーズの高まりにより、目標である放課後児童クラブの待機児童解消は達成できなかった。
 - ・待機児童の解消に向けて、待機児童の状況や今後の小学校児童数の推計等を精査し、ニーズが高い小校区に放課後児童クラブの増設を行う。
- ③ 教育環境の充実等による学力向上の推進及び支援体制の充実
- ・児童生徒の学力向上に向けて、教職員の研修や学習支援員の配置等を行い授業改善に取り組んでいるが、いまだ全国平均とは差があり目標達成に至らなかった。特に中学校は、県整体的に全国との差が広がってきている。
 - ・教育委員会において各種学力調査の結果分析を行い、それをもとに各校においても詳細な結果分析を行ったうえで、授業改善に取り組む。
 - ・今後も、学校 ICT 化の推進や、SSW・臨床心理士等による不登校児童生徒への支援体制の充実など、教育環境の向上に向けて取り組む。

・基本的方向②健やかで切れ目のない子どもの成長支援

- ① 親と子の健康の確保に向けた取組みの推進
- ・3歳児検診健康診査については予約枠や受診勧奨の時期を調整したことにより、受診率の向上につながった。
 - ・おたふくかぜ予防接種については、コロナ禍以降の接種率が低迷している。
- ② 障がい児・発達面で支援が必要な子等への支援の充実
- ・特別な支援を必要とする児童生徒への対応のため、学校へ支援員を配置しているが満足度調査の結果が86.3%と目標達成に至らなかった。
 - ・重度心身障がい児や医療的ケア児に対する専門知識や個別支援が必要なため、専門人材の確保が課題である。

・基本的方向③子育てしやすい社会環境の整備

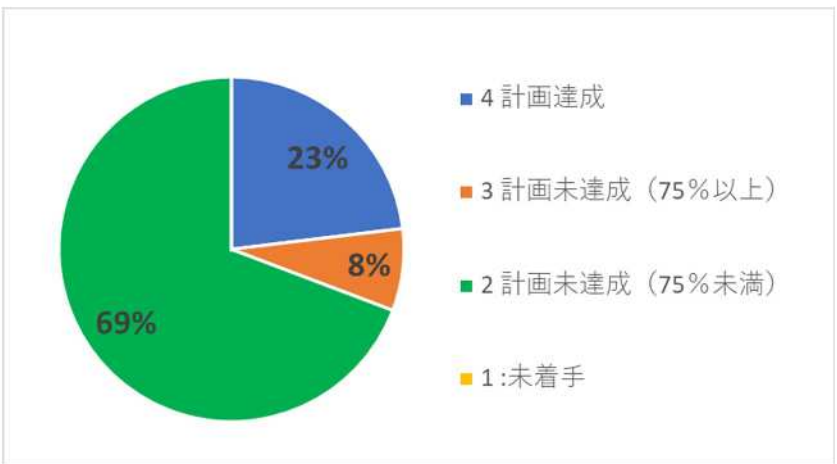
- ① 児童虐待防止に向けた対策の推進
- ・虐待等に関する専門的な相談支援や関係者会議等、児童福祉関係事業に取り組んでいる。児童福祉支援者研修会等については、参加者募集の際に大きなテーマの提示のみで、一部、講座内容について参加者の希望とギャップがあり満足度が目標に届かなかったため、今後は対象者をより明確にして募集することを検討。
- ② ひとり親家庭への自立支援
- ・ひとり親家庭のこどもを対象とした学習支援等、ひとり親家庭への各種支援事業に取り組んでいる。その中でも、高等職業訓練促進給付金の受給者のうち資格取得した4名が常勤雇用につながった。
- ③ 子どもの貧困対策の推進
- ・こども支援員を4中学校区に1名ずつ配置し、就学援助や就労体験等の支援に取り組んだ。こどもの居場所運営支援については年々拡充しており、目標を上回る 15 か所への支援を行った。また、民間に委託し、拠点型こどもの居場所を開所した。

○数値目標の達成状況

R6数値目標	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価
		R5	R6		
保育施設の待機児童数	71人	32人	35人	0人	2
放課後児童クラブの待機児童数	80人	76人	68人	0人	2

OKPI の達成状況

指標 (KPI)	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価 (KPI達成度)
		R5	R6		
保育施設の待機児童数	71人	32人	35人	0人	2
放課後児童クラブの待機児童数	80人	76人	68人	0人	2
学習支援員配置等による全国学力・学習状況調査(小学校・算数)正答率の全国との差	+1.4ポイント	-3.5ポイント	-3.4ポイント	+3ポイント	2
学習支援員配置等による全国学力・学習状況調査(中学校・数学)正答率の全国との差	-8.8ポイント	-9.0ポイント	-9.5ポイント	-5ポイント	2
ALT・JTE配置等による「英語が好き」な児童(小5・6)の割合	82%	81%	81%	85%	2
ALT配置等による「英語が好き」な生徒(中3)の割合	57.2%	47.3%	58.1%	65%	2
3歳児健康診査受診率	86%	90.2%	90.3%	90%	4
おたふくかぜ予防接種率	89.7%	86.2%	76%	90%	2
放課後等デイサービス利用者人数	430人	688人	735人	752人	3
特別支援教育支援員派遣事業に対する満足度(満足度調査)	93%	87.6%	86.3%	95%	2
児童福祉支援者研修会及び講演会参加者の満足度	89.2%	95.3%	87.4%	90%	2
高等職業訓練促進給付金を受給して資格を取得した者に占める就職者の割合	87.5%	50%	100%	90%	4
子どもの居場所運営支援箇所数	7か所	9か所	15か所	7か所	4



■基本目標④ 市民が健康で安心して住み続けられる、時代に合った都市をつくる

基本的方向①市民のための跡地利用の推進
基本的方向②全ての市民が心身ともにいきいきと暮らせるまちづくり
基本的方向③安全な都市のくらしをまもる
基本的方向④次世代に誇れる持続発展可能な都市の形成
基本的方向⑤男女がともに能力を発揮するための意識と環境づくり

・基本的方向①市民のための跡地利用の推進

- ① 駐留軍用地の跡地利用の推進
- ・宜野湾市と沖縄県が令和4年度に策定した「全体計画の中間とりまとめ(第2回)」を基に、計画内容の具体化を図るとともに、市民・県民・地権者等に対して情報発信等を行い、普天間飛行場跡地利用計画に反映させるための取組を進めている。

・基本的方向②全ての市民が心身ともにいきいきと暮らせるまちづくり

- ① いきいきとした“ひと”を育む健康づくりの推進
- ・介護予防、学校体育施設の一般開放といった健康づくりの推進に取り組んでいる。各種運動教室等にも取り組んでいるが、男女ともに運動習慣者の割合は減少しており、単発イベント的な参加のみで定着化まで繋がっていない。
 - ・図書館及び博物館においては、企画展などで利用者数を伸ばすため、各種イベントを実施しているが、コロナ禍で落ち込んだ利用者数の回復には至らず、目標値の達成ができなかった。

・基本的方向③安全な都市のくらしをまもる

- ① 防災体制の充実と危機対応力の強化
- ・自主防災組織の新規設立数、食糧の備蓄、消防車両等の整備更新、普通救命講習受講者については目標を達成した。
 - ・保存水については、備蓄場所の確保や消費期限切れに伴う補充等により目標達成に至らなかった。
 - ・住宅用火災警報器については、直近の調査において戸建て住宅への設置が進んでいないことが分かったため、戸建て住宅への設置を加速させる必要がある。

・基本的方向④次世代に誇れる持続発展可能な都市の形成

- ① 環境保全と循環型社会の構築
- ・ダンボールコンポスト講習会、ごみのポイ捨て防止パトロール等において意識啓発に努めている。ごみの総量自体は減少傾向にあるものの、目標に至らなかった。今後は、自治会だけでなく、学校でのこども向け講習会の拡充などを検討したい。
 - ・小学生を対象に省エネ教室や夏休みこども環境学習会等を実施し、計画通りに目標を達成した。

・基本的方向⑤男女がともに能力を発揮するための意識と環境づくり

- ① 家庭・地域・職場等における男女共同参画の推進
- ・講座等を通じて男女共同参画の推進を図っている。土曜日開催や託児等と参加しやすい講座づくりに努めているが、コロナ禍以降大規模の講座を開催しておらず目標を達成できなかった。
 - ・両親学級(こうのとりのクラブ)について、電話予約から QR コードを利用したオンライン申請による予約ができるようになったこと等から参加希望が増え、年間9回の実施から 12 回へと増やし目標を上回った。
- ② 女性の能力発揮促進と人材育成
- ・審議会等の委員が各組織や役職での宛て職となっていることも多く、委員に占める女性割合の目標に届かなかった。

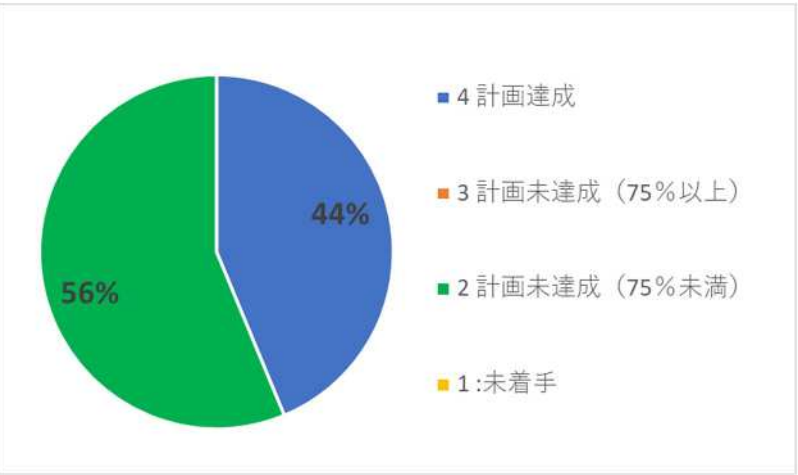
○数値目標の達成状況

R6数値目標	現状値 (H27※)	実績値		目標値 (R6)	評価
		R2※	推移		
健康寿命の延伸	【健康寿命】 男性:78.7 女性:83.68	男性:79.93 女性:84.88	男性:+1.23 女性:+1.2	健康寿命の増加分が平均寿命の増加分を上回ること	-
	【平均寿命】 男性:80.64 女性:88.18	男性:81.67 女性:89.02	男性:+1.03 女性:+0.84		

※5年に1度沖縄県より公表される値であるため、公表されているH27とR2の比較により評価。

OKPI の達成状況

指標 (KPI)	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価 (KPI達成度)
		R5	R6		
普天間飛行場跡地利用計画の策定進捗状況	配置方針及び配置方針図の更新案作成	取組の具体化	第2回中間取りまとめ策定 R6は取組の具体化	第2回中間取りまとめ作成	4
運動習慣者の割合	男性 34.2%	31.6%	29.1%	男性 45%	2
	女性 29.8%	27.8%	27.6%	女性 40%	2
市民図書館利用者数	171,776人	118,668人	142,172人	185,814人	2
市立博物館利用者数	34,743人	25,970人	29,600人	34,743人	2
食糧の備蓄	27,000食	54,580食	63,400食	27,639食	4
保存水の備蓄	2,136L	15,996L	15,873L	27,639L	2
自主防災組織の設立数	12団体	23団体	23団体	23団体	4
住宅用火災警報器設置条例適合率の上昇	60%	65%	47%	62%	2
消防車両等の整備更新(延べ台数)	1台	6台	8台	8台	4
普通救命講習等受講者数	2037人	2,670人	2,841人	2,140人	4
環境教育講習会の実施	13回	24回	27回	25回	4
家庭ごみの排出量	522.8g/人日	516g/人日	504g/人日	462g/人日	2
両親学級(こうのとりのクラブ)への父親の参加率	43.6%	85.90%	85.7%	45%	4
男女共同参画に関する講座への参加者数	440人	198人	276人	800人	2
市の附属機関として設置されている審議会等の委員に占める女性の割合	35.5%	30.50%	31.1%	40%～60%	2



■横断的目標① 多様な人材の活躍を推進する・横断的目標② 新しい時代の流れを力とする

横断的目標①

基本的方向①多様なひとびとの活躍による地方創生の推進

基本的方向②誰もが活躍する地域社会の推進

横断的目標②

基本的方向①地域における Society5.0 の推進

基本的方向②地方創生 SDGs の実現などの持続可能なまちづくり

横断的目標①

・基本的方向①多様なひとびとの活躍による地方創生の推進

- ・地域リーダー等養成講座(ぎのわん地域づくり塾)は、公開講座を含め 9 回実施し、14 名が修了したことにより、目標を上回る結果となった。
- ・モデル地域からの参加者拡大を図るとともに、修了生に対する活動機会の創出及び支援を継続する。

・基本的方向②誰もが活躍する地域社会の推進

- ・地域づくり推進助成事業は、年間目標である4団体に対し、合計 196 万 5,149 円の助成を行い、目標を上回る結果となった。「地域リーダー等養成講座」の修了生による意欲的な応募などもあり、助成制度の活用団体数の増加に繋がっている。
- ・今後は、地域リーダー等養成講座の受講生や卒業生に各補助制度の周知を図り、事業報告会及び交流会を継続することにより、団体間の交流と活性化に取り組む。

横断的目標②

・基本的方向①地域における Society5.0 の推進

- ・見守り自動販売機について、当初は公共施設への設置を行ってきたが、現段階は民有施設における設置を推進しており、自動販売機所有者の承諾取得に時間を要した。また、受信機の効果的な設置のためには、設置箇所の十分な検討が必要である。なお、受信機の性能向上に伴い、最終的な購入数の累計は 295 機となった。
- ・今後、道迷い者のログ検証やデータ分析を行い、搜索開始から発見までの時間・経緯等を整理し、民間企業へのフィードバックや社会貢献を実感できる仕組みを検討する。

・基本的方向②誰もが活躍する地域社会の推進

- ・第5次総合計画の策定にあたっては、各課において施策ごとの SDGs 目標を把握し、振興計画審議会において SDGs との関連性を説明するとともに、庁内で関連施策の周知を図るなど、目標の達成に向けた取り組みを実施した。
- ・今後は、SDGs の考え方が第5次総合計画の各施策に横断的に反映されていることから、SDGs を念頭に置きながら当該計画を推進していく。

○数値目標の達成状況

R6数値目標	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価
		R5	R6		
地域リーダー等養成講座修了生(延べ人数)	28人	100人	114人	100人	4
講演会、講座、研修、ワークショップ、交流会等の開催延べ件数	1回	8回	9回	6回	4

○KPIの達成状況

指標 (KPI)	現状値 (R1)	実績値		目標値 (R6)	評価 (KPI達成度)
		R5	R6		
地域リーダー等養成講座修了生(延べ人数)	28人	100人	114人	100人	4
地域づくり推進事業団体数	4団体	20団体	24団体	20団体	4
見守り自動販売機の設置	0機	73機	167機	400機	2
講演会、講座、研修、ワークショップ、交流会等の開催延べ件数	1回	8回	9回	6回	4

